



乾為天(けんいてん)

校長 工藤昌雄

新年を迎え、平成24年が幕を開けて早一月が過ぎようとしている。今年は干支では辰年であり、龍に関するものが多く取り上げられていた。私の思い違いでなければ、辰年生まれの著名人の一人に芥川龍之介がいる。彼は明治25年3月1日生まれであるが、干支では辰年辰月辰日辰の刻に生まれたので龍之助と名付けられたと言われているが、実は3月は寅月であり、出生時刻も不明というのが事実なようである。また幕末に活躍した坂本龍馬も名前から辰年生まれのように思えるが、天保6年1月3日生まれで未年生まれである。

龍に関して、昨年11月に心温まるエピソードがあった。それは、ブータンのワンチェク国王夫妻の福島県相馬市立桜丘小学校の訪問である。19日に同校を訪問した国王は、確か子供達に「龍を見たことがありますか」と訪ね、「私は見たことがあります」と言っていた。きょとんとしている子供達に「龍は私達皆の中において、経験を食べて成長します。だから日増しに強くなるのです。龍は一人ひとりの心の中にいます」という趣旨のことを優しい温かな眼差しで話し、子供達や被災地の人々にエールを送っていた。中国では龍は皇帝のシンボルであったが、ワンチェク国王はまさに現代版龍の化身ではないかと思えるような一コマであった。

龍は架空の神獣で霊獣であるが、古来より麒麟、鳳凰、靈龜とともに四霊の一つに数え

られ、特別な扱いを受けている。日本でも神社仏閣に多くその姿を見ることができ、また雨乞いの対象にもなっていることが多い。地や池に棲む龍は、その鳴き声によって雷雲を呼び、竜巻に乗って昇天し、天空を飛翔するということが由来しているのであろう。また天空を飛翔する姿が皇帝や国王の政治権力や尊厳と重複視されたことが所以と思われる。

ところで、龍が地や池から昇天し飛翔する過程の姿を例えた教えがあり、その一つに「見龍」というものがある。これは、古代中国の周代の「易経」六十四卦の「乾為天」の二番目にあたるものである。「乾為天」とは、活気と勢いがあり、すべてに前向きに一生懸命頑張る時を意味しており、六段階で変化をすると説かれている。第一段階が「潜龍」で田に潜んでいる龍を表し、じっと実力を蓄えている時期である。第二段階が「見龍」で、龍が田に上がってきて周りを見ている時期、つまり見識のある人や上司の指導を受けている時期である。丁度、生徒の皆さんが本校で先生方やコーチの指導を受け、一生懸命学んでいる時期である。天に昇り飛翔する龍も謙虚に一生懸命学ぶ時期がある。またそれが重要なのである。生徒の皆さんには、目標の実現に向けて真摯に教えを請い、全力で学んでほしい。辰年の名に相応しく、龍のように生徒の皆さんが活躍することを期待したい。

2月行事予定

- | | | |
|----------|----------|--------------------|
| 1月31日(火) | ～2月3日(金) | 3年学年末考査 |
| 2月3日(金) | | 2年就職模試② ワックス塗布(3年) |
| 5日(日) | | 全商商業経済検定 |
| 9日(木) | ～14日(火) | 1・2年学年末考査 |
| 10日(金) | | 漢字検定 |
| 11日(土) | | 全商PC入力スピード認定試験 |
| 12日(日) | | 日商珠算検定 |
| 15日(水) | | 日商販売士検定 |
| 17日(金) | | 3年登校日 |
| 17日(金) | ～19日(日) | 1・2年 公務員セミナー |
| 26日(日) | | 日商簿記検定 |
| 29日(水) | | 卒業式準備・予行 同窓会入会式 |
| 3月1日(木) | | 卒業式 |



女子ソフトテニス県ベスト4!

本校女子ソフトテニス部は10月に行われた県高校新人戦で3位、12月に行われた県高校選抜室内(インドア)ソフトテニス大会においても見事団体ベスト4に輝きました。メンバーは山内稜子・熊谷杏奈・阿部怜乃・佐々木冴・千葉里美・木村優希、及川安美・金森奈々の皆さんです。

以下は、顧問の日野先生のコメントです。

「新人大会は夏の状況から考えれば、ベスト4に入れたことは、予想以上の成績でした。選抜インドア大会は新人戦後2ヶ月での大会でした。個人戦・団体戦とも予想以上の戦いことができました。新人戦までは練習でできていたプレーができなかったが、ほぼ練習通りの試合ができた。県の上位ペアとの試合もまだ勝つまでにはいかないが、自分たちの戦いでポイントが取れるようになってきた。基本となる学校生活を充実させ、着実にレベルアップを図り24年度の高校総体では更に良い戦いができるよう頑張らせたいと思います。保護者の皆様・先生方には様々な面でご協力・ご配慮いただきありがとうございました。今後よろしく願います。」



3年進路100%・体験聞く会開催

1月23日(月)に今年の3年生全員の進路達成が決定しました。最終的に就職70名、進学45名となりました。地域別に見ると県外48%、県内52%(うち管内40%)でした。公務員6名(実人数)、四年制大学は国公立6名、私立5名となっています。今年は震災の影響で不安もありましたが、皆さん一途で前向きに頑張った成果だと思えます。おめでとうございます。

1月18日(水)1・2年生各HRにおいて「3年生の進路体験を聞く会」が行われました。大学・専門学校進学者・公務員・民間就職者それぞれから61名が自分の進路決定までの取り組んだ内容や悩んだり、落ち込んだ体験を含めながら後輩に伝える会でした。原稿をなるべく見ないで、自分の言葉でしっかりと伝えられていました。

1・2年生も身近な先輩の体験をしっかり聞き、早期の進路決定のため、普段の学習や検定取得に向け、今やるべきことをやっていくことを気づかされたようでした。

同じ校舎で生活する先輩の言葉は後輩にとって進路を自分のこととして考える良い機会になったと思われま



電卓実務検定1級満点賞!

この度、1年会計ビジネス科の清川友美さん、佐々木美咲さんが、「全商主催第123回珠算・電卓実務検定1級(電卓の部)」で満点合格し、『満点賞』を受賞しました。

この『満点賞』は同一回で乗算、除算、見取り算、伝票算の「普通計算部門」と証券投資関連の「ビジネス計算部門」の両部門で満点を取った人に贈られる賞で岩手県では2年ぶり、本校でも3年ぶりの受賞でした。また、同一校から2人受賞するのは、岩手県では平成17年以来のことで、新聞社もその希少性に注目し、3社から取材を受けました。取材の際には、「まさか満点賞になるとは」と驚いていました。受賞者には全商協会より賞状とトロフィーが贈呈され、その功績を讃えています。

二人とも電卓計算を始めたのは高校に入ってからで、短期間でも集中して努力すれば結果がついてくることを身を持って教えてくれました。清川さんは電卓選抜の一員として新人戦の東北大会に出場し、佐々木さんは珠算同好会に所属し、全国大会に出場しています。今後もそれぞれの分野での活躍を期待しています。本当におめでとうございます。



学校保健委員会開催される

平成24年1月19日(木)に本校実践室にて、岩崎内科校医、鈴木眼科校医、油井歯科校医、及川学校薬剤師、沼井スクールカウンセラー、川邊PTA会長、米倉PTA厚生部委員長、校内職員の計17名の参加を得て開催されました。

学校保健については、計画通り検診等実施され保健管理が適切になされていること、また、学校全体が落ち着いており保健室利用も適切であるという報告がありました。スクールカウンセリングの状況については、震災に関わりストレス調査を実施しましたが、震災によるストレスというより以前から抱えていた問題が表面化したケースが圧倒的に多く、相談内容が多様化・深刻化しており、ケースによっては外部機関と連携しながらチームで支援に当たっていると報告がありました。

その後、ドラッグストアやネット購入できるカラーコンタクトは大変危険なもので感染症による生徒の来院が増えていること、フッ素入りの歯磨き粉を使用している就寝前の歯磨きが虫歯予防に有効なこと、教職員のメンタルヘルスが心配であること等、校医の各先生方よりご指導・ご助言を頂きました。健康へ一層努力しましょう!

